

浸水津波 避難ハザードマップ

南海トラフ地震 理論上最大モデルの被害想定

浸水深30cmに到達する時間の分布

地震発生後から、浸水深30cmに到達するまでの時間を示した図です。30cm以上の水深があると、歩いて避難するのが難しくなります。また、避難の準備ができて家を出るのに必要な所要時間の目安は15分ほどかかります。

※このマップは雨や台風による浸水被害を示すのではなく、堤防の破壊によって川の水が流れ込むことによる浸水被害を示したマップです。

津波災害警戒区域(イエローゾーン)

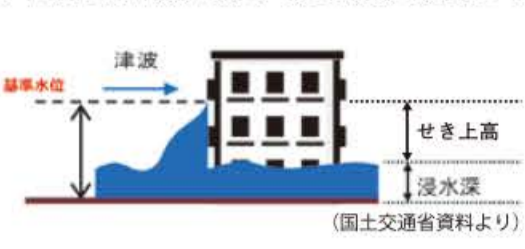
最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域です。この区域は、住民等が平常時には通常の生活や社会経済活動を営みつつ、いざという時には津波から「逃げる」ことができるように指定する区域で、建築物の建築や開発行為が制限されるものではありません。

蟹江町は全域が津波災害警戒区域に指定されています。

基準水位及びせき上

基準水位は、津波浸水想定で定める浸水深に、建築物等への衝突による津波の水位上昇を考慮して認められる値を加えて定める水位です。基準水位は津波に対して適切な避難高さであるため、避難施設等の効率的な整備の目安となります。なお、基準水位は、津波浸水想定における浸水深と同様に地盤面からの高さ(水深)で表示します。

また、建築物等に衝突する津波の水位上昇をせき上といえます。



指定避難所 List of designated evacuation shelter

災害の危険に伴い避難してきた人々が一定期間滞在する施設(町が指定する施設)

指定避難所	階数	電話番号(0567)
1 蟹江中学校	3階	95-2057
2 蟹江北中学校	4階	96-1145
3 蟹江小学校	4階	95-2037
4 舟入小学校	2階	95-2202
5 新蟹江小学校	4階	95-2203
6 須西小学校	3階	95-2201
7 学戸小学校	3階	96-2588
8 蟹江保育所	2階	95-2455
9 蟹江南保育所	2階	95-3449
10 蟹江西保育所	2階	95-6454
11 須成保育所	2階	95-0067
12 新蟹江北保育所	2階	96-1050
13 蟹江町体育館	1階	95-6330
14 蟹江中央公民館	2階	96-1135
15 舟入ふれあいプラザ	2階	95-1011
16 蟹江児童館	2階	95-6030
17 新蟹江児童館	2階	95-5441
18 みどりの家	2階	95-6511
19 蟹江町図書館	2階	95-0605
20 蟹江町産業文化会館	4階	96-0170
21 蟹江町希望の丘広場	4階	94-3800
22 蟹江町多世代交流施設「泉人」	3階	95-0026

指定緊急避難場所 List of designated urgent evacuation area

災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所(町が指定する施設)

指定緊急避難場所	階数	電話番号(0567)
1 蟹江中学校	3階	95-2057
2 蟹江北中学校	4階	96-1145
3 蟹江小学校	4階	95-2037
4 舟入小学校	2階	95-2202
5 新蟹江小学校	4階	95-2203
6 須西小学校	3階	95-2201
7 学戸小学校	3階	96-2588
8 蟹江町希望の丘広場	4階	94-3800
9 善太排水機場	95-1111(役場)	
10 須成排水機場	95-1111(役場)	
11 蟹江川排水機場	95-1111(役場)	
12 蟹江町多世代交流施設「泉人」	3階	95-0026
13 蟹江町観光センター「泉人」	2階	58-3310

緊急避難場所 List of evacuation area

浸水により指定緊急避難場所までの避難が難しい場合には、民間のマシオン等に緊急的に避難する

緊急避難場所	階数
1 ヨシツヤ JR 蟹江駅前店	2階
2 ヨシツヤ 専門店	3階
3 ホームセンターコーナン蟹江店	2階
4 第8近藤ビル	2階
5 三河屋	5階
6 加藤建設	4階
7 ルミエール	7階
8 フローラル富吉駅前	14階
9 富吉グリーンハイツ	10階
10 アーバンハイツ富吉	6階

官公庁施設 List of government office facilities

官公庁施設	電話番号(0567)
1 蟹江町役場	95-1111
2 蟹江町消防署(蟹江町消防本部)	95-5121
3 蟹江警察署	95-0110
4 蟹江警察署/須成駐在所	95-0110
5 蟹江警察署/蟹江交番	95-0110

地震が発生したとき、家族が同じ場所にいるとは限りません。このマップを利用して自宅、勤務先、学校から最も近い避難場所を確認しておきましょう。

また、地震はいつ発生するかわかりません。夜間や大雨の日に地震が発生すれば、避難場所までの道がわからないかもしれません。家族で決めた避難場所へ行く途中に、危険な場所・注意しなければならない場所がないか確認し、このマップに書き込んでみましょう。

凡例

- 1 指定避難所 Designated evacuation shelter
- 1 指定緊急避難場所 Designated urgent evacuation area
- 1 緊急避難場所 Urgent evacuation area
- 救援部隊活動拠点 Relief corps headquarters
- 災害ボランティアセンター The disaster volunteer center
- 災害時医療救護所 Emergency medical care station
- 蟹江町防災倉庫 Kanie disaster prevention warehouse
- 避難に適した建物 Building suitable for evacuation
- アンダーパス Underpass
- 乳幼児優先避難所 Infant priority shelter

防災BOX 地震自動開錠ボックス

小・中学校、希望の丘広場、観光交流センターには、夜間や休日など施錠されている場合でも扉を開錠することができるよう、施設出入口の扉に入った防災ボックスを設置しています。(防災ボックスは扉を5回以上の上の線を感知して自動で開錠します。)

避難の仕方

水平避難

避難場所・避難所へ避難すること。川と垂直方向に逃げましょう。

垂直避難

避難場所・避難所へ避難するに危険が伴う場合に、指定緊急避難場所、緊急避難場所、自宅や近隣の建物の2階以上へ避難すること。

地震の揺れを感じたときは水平避難(避難場所・避難所へ避難)することが大切ですが、状況によっては外へ出て避難所へ行くのがかえって危険な場合があります。以下の項目の一つでも当てはまる場合は無理に外に出ず、少しでも高いところに避難する垂直避難をしましょう。

命を守るために避難するのは避難場所。

避難所までに30cm以上浸水しているところを避らなければならない。

夜間や避難路上の危険箇所がわかりにくい。

水深は浅い(20cm程度)が、水の流れが速い。

避難路上に蓋のない用水路等があり、位置がわからない。

想定最大浸水深

地震発生後12時間後の状況

地震発生から12時間後の、町内の浸水深の想定結果を示した図です。

河川からはなれたところでも、広く浸水していることがわかります。

せき上高を含む新しい想定です。



最大浸水深

水深4m以上

水深3mから4mまで

水深2mから3mまで

水深1mから2mまで

水深30cmから1mまで

水深30cmまで

液状化危険度

地震発生後の液状化の状況

地震発生とともに町内のいたるところで液状化が発生します。

窪地や段差があちこちにできるかもしれません。

避難時には注意が必要です。



液状化危険度

なし

可能性が高い

可能性が極めて高い

南海トラフ地震想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合には、後発地震に備えて「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されます。

この「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表され、国からの指示があった場合には、「事前避難対象地域」では1週間を基準として避難を継続します。

この時、事前避難対象地域外の知人・親戚宅、宿泊施設等に自身で避難していただきますが、町においても避難所を開設し受け入れを実施します。

耐震・家具固定、備蓄品、津波基準水位の確認等から自宅等において屋内安全確保が可能な場合には、屋内安全確保による在宅避難も有効な避難手段となります。

- 南海トラフ地震発生
 - 巨大な後発地震の可能性が高いと判断
- 「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」発表
 - 国からの事前避難の指示
- 1週間を基準として事前避難対象地域外へ避難
- 十分な対策の下に屋内安全確保による在宅避難

避難困難水位(30cm)到達時間

- 5分
- 15分
- 30分
- 60分
- 90分
- 120分
- 120分以上

津波浸水想定区域の中でも避難が困難となる30cm以上の浸水が30分以内に生じる地域は、特に対策、心構え等が必要な地域です。この地域が避難困難地域として「事前避難対象地域」とされました。



1:9000

0 0.5 1km

蟹江町 浸水津波避難ハザードマップ

保存版

南海トラフ地震理論上最大モデルの被害想定

確認が終わったら、見やすいところに保存しましょう。

Kanie Town Flooded Tsunami Evacuation Hazard Map

いざという時に備え、日頃から避難場所や避難ルートを確認しておきましょう。

【蟹江町防災情報メール(気象情報・防災情報)】 防災情報アプリ

町民等の皆さんが防災情報を受け取れるよう、携帯電話やパソコンへ様々な防災情報をメールで配信するサービスです。登録は無料です。ぜひご利用ください。

コードを読み取り、空メール(件名:本文不要)を送信してください。

コードを読み取ってスマートフォンでアプリ「Hazardon(ハザードン)」をインストールすると、防災情報が受け取れます。

iOS用 Android用

【同報無線】 放送内容を聞き流したときは自動応答サービス TEL 0567-96-6506

【お役立ち情報】 災害情報を自ら収集し、危険を感じたときは自主的に避難してください。

- 蟹江町ホームページ <https://www.town.kanie.aichi.jp/>
- 愛知県川の防災情報 <https://www.kasen-aichi.jp/>
- 木曾川上流河川事務所 <https://www.cbr.mlit.go.jp/ksjyol/>
- 近畿日本鉄道 <https://www.kintetsu.co.jp/>
- 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/>
- 国土交通省リアルタイム川の防災情報
- 庄内川河川事務所 <https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>
- 日本道路交通情報センター <https://www.jartc.co.jp/>
- 日本気象協会 <https://tenki.jp/>
- 中部電力停電情報 <https://heiden.powergrid.chuden.co.jp/>
- 東海旅客鉄道(JR東海) <https://j-central.co.jp/>

【災害用伝言サービス「171」&「web171」】

NTTの災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

被災地域内と他の地域を結ぶ伝言板。【災害用伝言ダイヤル171】利用ガイドラインにしたがってご利用ください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。【災害用伝言板web171】画面の指示によりご利用ください。

伝言の録音方法、伝言の再生方法、Google翻訳、App Store、Google Play

7 我が家の防災メモ

Disaster prevention memo of my home

地震の揺れを感じたら **少しでも早く、できるだけ高いところに避難しましょう!**

南海トラフ地震発生時に使用する避難場所などを確認しよう!

家族の行動計画表

なまえ	ふだんよくいるところ	緊急避難場所	集会所	連絡先
蟹江 太郎	会社	△△ビル	〇〇小学校	090-0000-0000

津波避難の心得!!

津波から身を守るには、とにかく避難が第一です。いざという時に、しっかりと避難行動がとれるよう、以下のことに注意しましょう。

「早く・近く・高いところへ」

津波避難のタイミング

- 地震の揺れを感じたら、「津波警報・注意報」を待たずに**すぐ避難!**
- 地震の揺れを感じなくても、「津波警報・注意報」が発表されたら**すぐ避難!**

避難する(した)際の留意事項

周囲の方にも声をかけ、一緒に避難! 安全が確認されるまでは避難場所から戻らない!

1 蟹江町ってどんなところ?

What kind of place is Kanie town?

特徴・特性 Features and characteristics

蟹江町は、愛知県の西部に位置し、東は名古屋、北は津島市、あま市、西は愛西市、南は弥富市に接しています。

町内には**蟹江川・佐屋川・日光川・善太川・福田川・大勝川**が南北に流れています。

人口は37,099人(令和5年6月1日現在)で行政総面積の11.09平方キロメートル全域が**海抜0メートル地帯**である本町は、大小の河川面積が総面積の5分の1を占める地域特性をもっています。

想定される被害 Expected damage

平成26年5月に愛知県が発した調査結果(愛知県東海地震・南海地震・南海地震等被害予測調査報告書)によると、南海トラフ地震が発生した場合、蟹江町では最大で**震度6強**の揺れが発生するとされています。

理論※1	【建物被害】全壊・焼失棟数				【人的被害】死者数	
	揺れ	液状化	浸水津波	火災	建物倒壊	浸水津波
約1,600棟	約200棟	約1,200棟	約600棟	約90人	約600人	
過去※2	約300棟	約200棟	約50棟	—	約10人	約20人

※1 理論上最大モデル 「命を守る」という観点で、あらゆる可能性を考慮した、千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度の低い地震・津波を想定したモデル。

※2 過去最大モデル 南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいものを重ね合わせたモデル。

蟹江町に津波が川をさかのぼって到達するのは、地震が発生してから**約90分後以降**です。

地震の揺れによる被害とともに、みなさんが注意しなければならないのは、川の堤防が決壊することによって起きる**浸水被害**です。

浸水被害はどのようにしておきるのでしょうか? 右のページで確認してみましょう。

2 どうして浸水被害がおきるの?

Why do flooding occur?

浸水被害発生メカニズム Mechanism of flood damage occurrence

地震が発生すると、道路にヒビが入ったり、建物が壊れたりします。しかし、地震により被害を受けるのは道路や建物などの目に見えるものだけではありません。

地震により地面に強い振動が加わると、地盤の沈下とともに、**液状化現象**が発生します。これは堤防の内部も例外ではなく、堤防内部が液状化すると、強度が低下し盛土の荷重を支えきれなくなり**堤防が破壊**してしまいます。これにより町内に川の水が流れこんでしまうのです。

避難行動の判断フロー図 Figure of evacuation action judgment flow

地震が発生したときの状況に応じて、避難の仕方が異なります。下記のフロー図を参考に、避難の仕方を考えてみましょう。

水平避難 指定緊急避難場所 災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所です。

屋内退避 屋内安全確保 2階以上へ待避すれば命が助かる場合や、屋上への移動によりかえって命に危険が及ぶ場合は屋内安全確保をする。

垂直避難 緊急避難場所 浸水により避難場所までの避難が難しい場合には、民間のマンション等に緊急的に避難する。

3 浸水津波に備えよう!

Get ready for a flooded tsunami!

平常時

- 家の中の安全対策** 家具の固定、避難路をふさがないレイアウト、ガラスの飛散防止を施し家の中で被災しないよう対策を講じましょう。
- 避難場所等の確認** 自宅から、職場から、学校からの最寄りの避難場所・避難所・避難路も含めて平常時から家族で確認しておきましょう。
- 備蓄品の準備** 災害が発生しても、すぐに支援物資が届くとは限りません。家族が7日間は過ごせるだけの物資を備蓄しておきましょう。
- 地域のコミュニケーション** お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。

地震発生

- 自分の身を守る** 地震の揺れを感じたら、まずは落ち着いて自分の命を守ることを考えましょう。
- 揺れが収まってから行動する** 揺れている最中に火を消そうとすると、火傷をしてしまうかもしれません。●火の始末 ●出口の確認

避難の時

- 避難は徒歩が原則** 家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、多くの人が自動車や交通事故のおそれがあります。
- 地域での協力が大切** お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。
- 河川に近づかない** 地震の後には、堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。

堤防破壊で浸水

- 少しでも早く、高いところに逃げる** 既に避難路が浸水している場合は、遠くにいる高いのでなく、高いところに逃げましょう。最寄りの丈夫な建物のできる限り高いところに避難しましょう。
- 河川から離れる方向に逃げる** 地震発生直後、堤防が破壊し町内には水が流れ込みます。また蟹江町にやってくる津波は川をさかのぼってやってきます。避難のときは、川と直線の方向に逃げましょう。

津波による河川の水位上昇

「安全な場所についたら、水が引くまで待機する。」 一度浸水すると、水が引くまでは時間がかかります。安全な場所に避難できたら、家に戻らず、その場で救助を待ちましょう。

6 普段の備えをしっかりと!

Secure your daily routine!

備蓄品の準備 Stockpile preparation

一度浸水すると、水が引くまで孤立してしまう可能性があります。救助が来るまでの間、家族が食べていけるだけの食品・飲料水の備蓄など、避難生活の準備をしておくことが重要です。

※備蓄品は2階以上に保管しておきましょう。

非常持出品リスト

- 防災用品** 懐中ラジオ、ヘルメット、防災ずきん、手巾、マスク
- 照明等** 懐中電灯(電池含む)、マチライター
- 食器類** はし・スプーン、紙皿・紙コップ
- 衣料品** 衣服(着替え)、タオル(大)2種類
- 医療用品** 三角巾、包帯、絆創膏、消毒液
- 便利用品** 筆記用具、消しゴム、指輪、手拭、手袋
- 貴重品** 現金(小銭も必要)、預貯(金通帳の写し)、免許証の写し、カード類、印印・印鑑など
- その他** 個人に必要なもの、粉ミルク、靴おつ、生理用品、予備のメガネ、補聴器など

消費しながら備蓄する! ローリングストックのすすめ

非常用の備蓄品には「気が付いたら消費期限が大幅に過ぎていた」という失敗が起こりがちです。いざ!という時に消費期限が切れてはせっかくの備えが台無しです。

ローリングストックは、普段使うものを多目に備蓄しておき、**使用したら買い足す**というサイクルを繰り返すことで、常に新しいものを無駄なく備えておくことができます。

マップの利用方法について How to use the map

STEP 1 自宅や学校、職場の位置と、浸水状況・浸水回避場所などを確認しよう。

STEP 2 自宅や学校、職場など普段よくいる場所から最も近い避難場所を確認しよう。

STEP 3 もし、夜間に地震が発生しても迷わずに避難場所まで浸水開始時間をふまえて、避難場所までの避難路を決めておきましょう。

STEP 4 実際に避難路を歩いて、危険箇所など気づいたことをマップに書き込んでみましょう。

5 いろいろな方法で情報を収集しましょう!

Collect information in a variety of ways!

町民への情報伝達経路 Information transmission route to townspeople

災害時には、以下のように情報が伝達されます。被害を最小限にとどめるには、正確かつ新しい情報の入手が重要となります。

名古屋地方気象台 → 蟹江町 (緊急安全確保、避難指示、高齢者等避難) → 同報無線、インターネットホームページ、防災情報メールなどのあらゆる手段 → 町民のみなさま

各報道機関 → テレビ、ラジオ(FMなみなみ)などの各メディア → 町民のみなさま

避難に関する情報 Information about evacuation

警戒レベル5 緊急安全確保 災害発生又は切迫 直ちに命を守る最善の行動をとってください。

警戒レベル4 避難指示 災害の恐れ高い 危険な場所から全員避難してください。避難行動が危険と判断される場合には、屋内安全確保を含めて直ちに命を守る最善の行動をとってください。南海トラフ地震により伊勢湾を含む太平洋沿岸に津波警報等が発表された場合、蟹江町全域に「避難指示(緊急)」を発令します。

警戒レベル3 高齢者等避難 災害の恐れあり 避難行動要支援者等避難に時間を要する方が避難を開始しなければならない段階。避難行動に支援が必要な方、避難に時間を要する方及び支援をされる方は、危険な場所から避難してください。通常の避難行動がとれる方は、避難準備を整えてください。もしくは自主的に避難してください。

4 早めの避難を心がけましょう!

Let's keep early evacuation!

河川から流れ込んだ水は最も深いところで3mを超える水位となります。広い範囲にわたり浸水が想定されますので、浸水による被害を軽減するには、町民のみなさん一人ひとりが率先して避難を開始することが大切です。

地震による**大きな揺れ**・弱くても**ゆっくりとした長い揺れ**を感じたときは、テレビや町からの情報を待たずに直ちにできるだけ高いところを目指して避難を開始してください。

道路が浸水している時の注意点

- 運動靴で避難する 避難の際は長靴ではなく、履きなれた運動靴を履いて避難しましょう。長靴を履いて避難すると、長靴の中に水が入り込み、避難行動の妨げになります。
- 足元を確認しながら行動する 避難路が浸水しているとき、道路上の危険箇所が正しく判断できない可能性があります。浸水した道路を歩くときは長い棒を杖代わりにして危険を確かめながら歩きましょう。

災害時避難行動要支援者登録制度 Disaster evacuation action supporter registration system

蟹江町では、災害が発生したときや災害のおそれがあるとき、自力で避難することが難しい高齢者や障がいをお持ちの方などに対して、災害(避難)情報の伝達や避難場所への誘導などの支援が必要な方を「**災害時避難行動要支援者**」として登録する制度を進めています。

対象となるのは、災害時に家族などの支援だけでは避難することができない、または家族などの支援が受けられない在宅の方で、右の①から⑦のいずれかに該当される方です。

- ① 65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯
- ② 介護保険における要介護度3以上の認定を受けている方
- ③ 身体に障がいのある方 (身体障がい者手帳1・2級をお持ちの方)
- ④ 知的障がいのある方 (療育手帳Aをお持ちの方)
- ⑤ 精神に障がいのある方 (精神障がい者保健福祉手帳1・2級をお持ちの方)
- ⑥ 難病をお持ちの方
- ⑦ その他支援が必要とされる方

※登録には申請が必要です。詳しくは、蟹江町ホームページをご確認ください。 <https://www.town.kanie.aichi.jp/soshiki/7/saiga.html>

災害時避難行動要支援者として、地域から守るために、地域の方々と協力し助け合おう。